



2025年3月期 決算短信 補足資料

(2024年4月～2025年3月)

2025年5月14日



STANDARD
TOKYO

証券コード: 1905

会社概要	3～4ページ
2025年3月期 決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)	10ページ
2026年3月期の業績予想(連結)	11ページ
2026年3月期の連結売上高予想	12ページ
2026年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2021年3月期～)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2021年3月期～)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、
建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、
安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、
お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	(単体) 215名 (連結) 369名 ※2025年3月31日現在
拠点	(営業所) 北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 (出張所) 北東北、郡山、北陸の3ヶ所 (機材センター・試験研究室) 東京機材センター
グループ会社	(連結子会社：国内) (株)テノックス技研、(株)広島組、大三島物産(株) (非連結)、(株)複合技術研究所 (連結子会社：海外) TENOX ASIA COMPANY LIMITED (ベトナム)

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 〔主な工法〕 杭工法 : CP-X工法、TN-X工法、TN工法、 ガンテツパイル工法、NSエコパイル工法、 ATTコラム工法、 地盤改良工法 : テノキューブ工法、テノコラム工法、 格子状地盤改良工法(液状化対策)、 ピュアパイル工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)広島組	基礎工事の施工
大三島物産(株) (非連結)	基礎工事の施工
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

2025年3月期 決算の概要(連結)



- 売上高: 北海道新幹線延伸事業の大型杭工事が大きく寄与
- 利益 : 北海道新幹線延伸事業が寄与したほか、施工効率の向上やコストの販売価格への転嫁により大幅増

■売上高	237億17百万円	前期比 +35億10百万円 (+17.4%) ✓主に大型の杭工事が寄与
■営業利益	11億15百万円	前期比 +5億94百万円 (+114.1%) ✓主に施工効率の向上やコストの販売価格への転嫁による
■経常利益	11億64百万円	前期比 +6億6百万円 (+108.8%) ✓主に営業利益の増益による
■親会社株主に帰属する 当期純利益	7億49百万円	前期比 +3億61百万円 (+93.1%) ✓主に経常利益の増益による
■受注高	210億93百万円	前期比 △46億42百万円 (△18.0%)
■受注残高	97億42百万円	前期末比 △20億75百万円 (△17.6%) ✓当期末の主な残高は鉄道の土木杭工事

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2024/3	売上高 比率	2025/3	売上高 比率	前期比	
売上高	20,207	—	23,717	—	+3,510	+17.4%
売上原価	17,373	86.0%	20,093	84.7%	+2,720	+15.7%
売上総利益	2,833	14.0%	3,623	15.3%	+789	+27.9%
販売費及び 一般管理費	2,312	11.4%	2,507	10.6%	+195	+8.4%
営業利益	520	2.6%	1,115	4.7%	+594	+114.1%
経常利益	557	2.8%	1,164	4.9%	+606	+108.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	388	1.9%	749	3.2%	+361	+93.1%

連結貸借対照表の概要



- 流動資産：主に現金預金が増加
- 流動負債：主に未払消費税等、支払手形・工事未払金等が増加

(単位:百万円)

	2024/3末	2025/3末	前期末比	
流動資産	15,285	16,957	+1,672	+10.9%
固定資産	3,781	4,115	+334	+8.8%
資産合計	19,066	21,073	+2,006	+10.5%
流動負債	5,742	6,966	+1,224	+21.3%
固定負債	634	814	+180	+28.4%
負債合計	6,377	7,781	+1,404	+22.0%
純資産合計	12,689	13,291	+601	+4.7%
(自己資本比率)	(64.5%)	(61.4%)	(△3.1ポイント)	—

連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

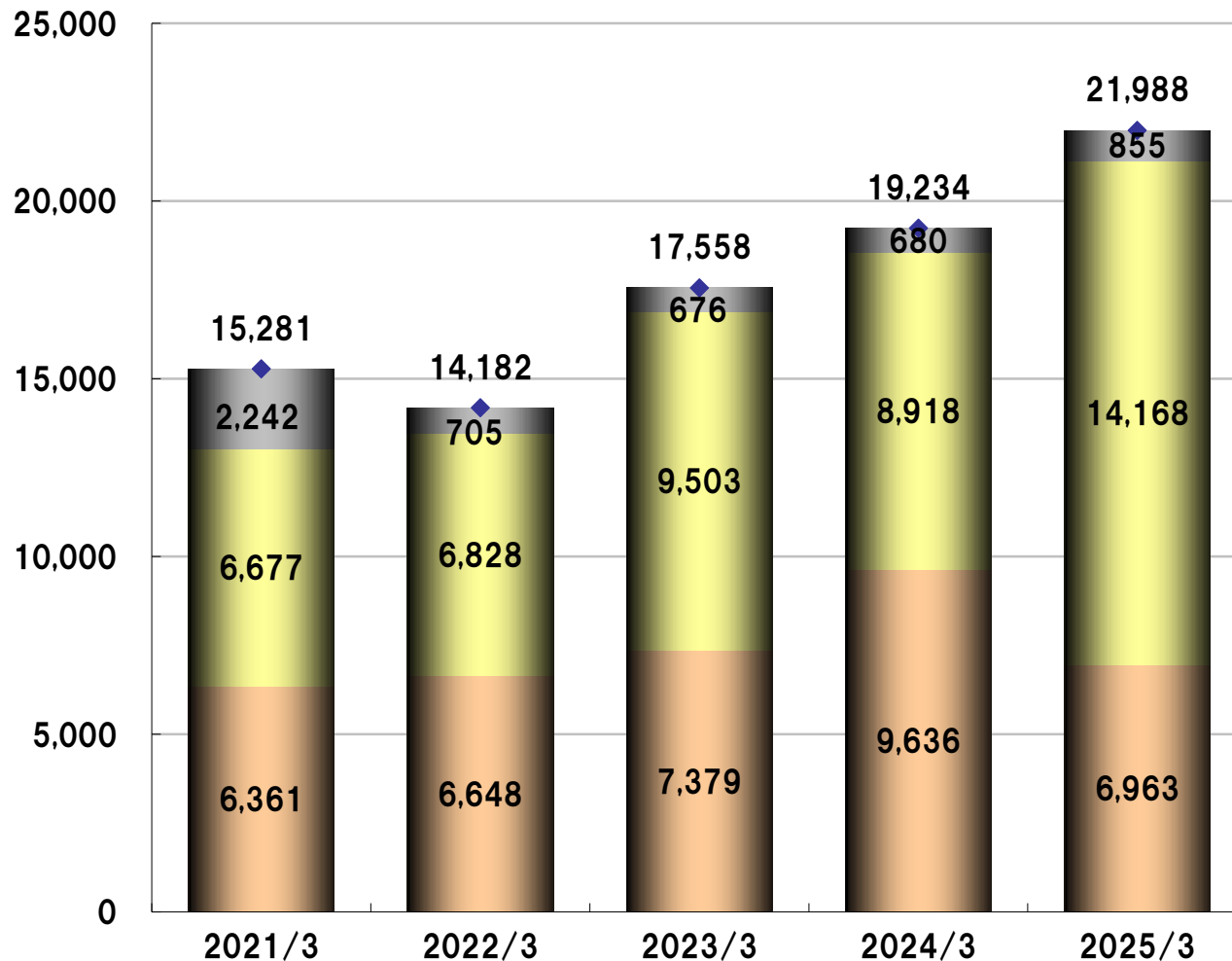
	2024/3	2025/3	当期の主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+142	+3,047	税金等調整前当期純利益 +11億34百万円 減価償却費 +5億41百万円 未成工事支出金等の増加 △70百万円 法人税等の支払額 △62百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△947	△792	有形固定資産の取得による支出 △7億70百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△309	△301	配当金の支払額 △2億71百万円
現金及び現金同等物の 増減額	△1,173	+1,855	
現金及び現金同等物の 当期末残高	8,342	10,198	

売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計



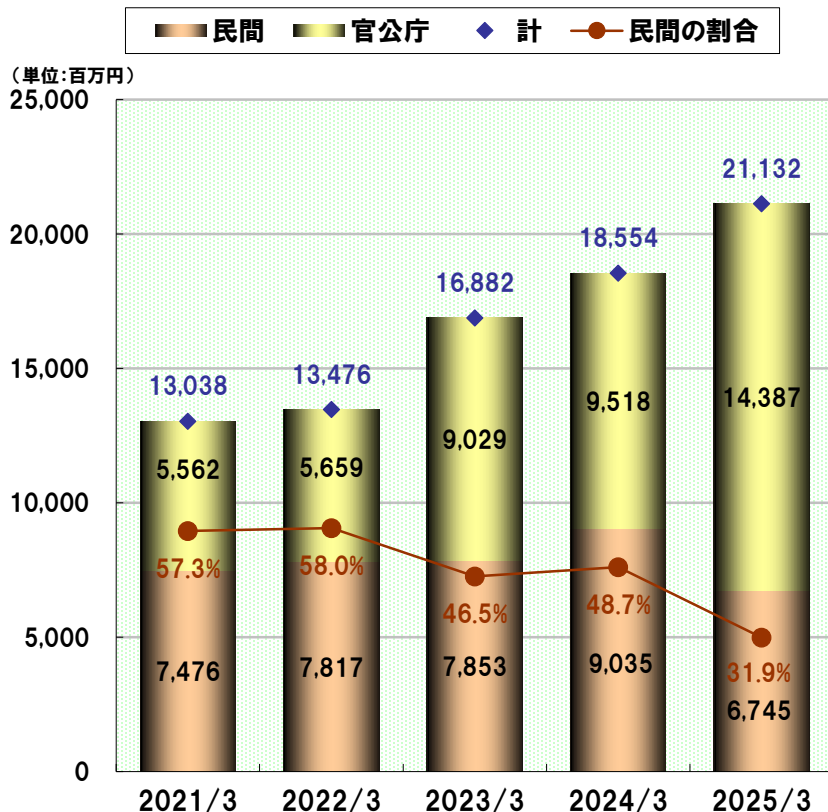
前期比 主な要因

- 杭工事:
主に、北海道新幹線延伸
事業が増加
- 地盤改良工事:
主に、大型工場や物流施
設の工事が減少

売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)



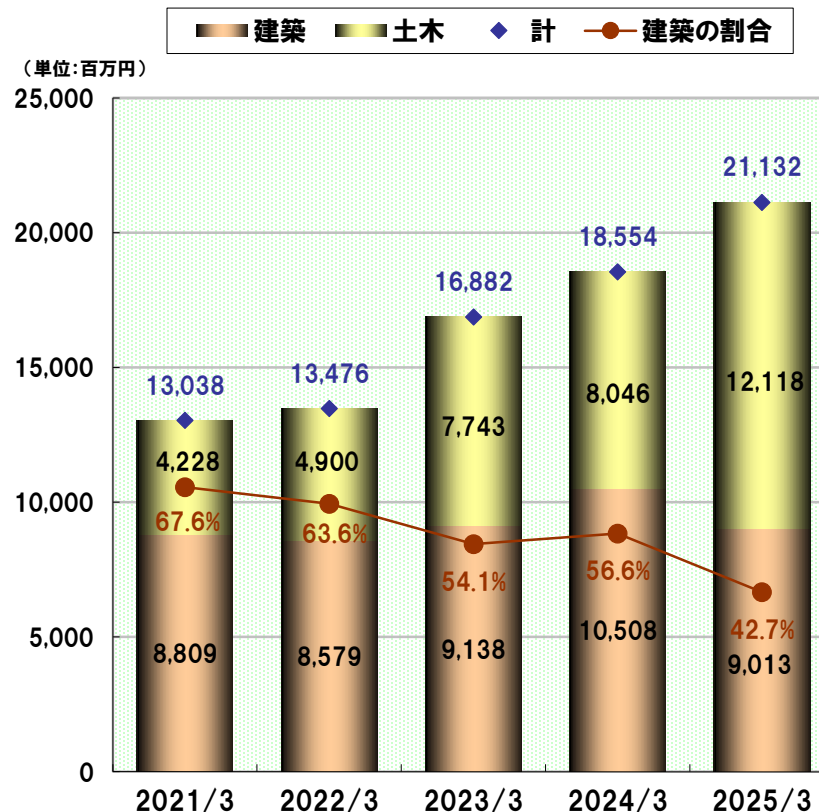
民間・官公庁の推移(単体)



前期比 主な要因

- 民間は、大型工場や物流施設の地盤改良工事が減少
- 官公庁は、北海道新幹線延伸事業の杭工事が寄与

建築・土木の推移(単体)



前期比 主な要因

- 建築は、大型工場や物流施設の地盤改良工事が減少
- 土木は、北海道新幹線延伸事業の杭工事が寄与

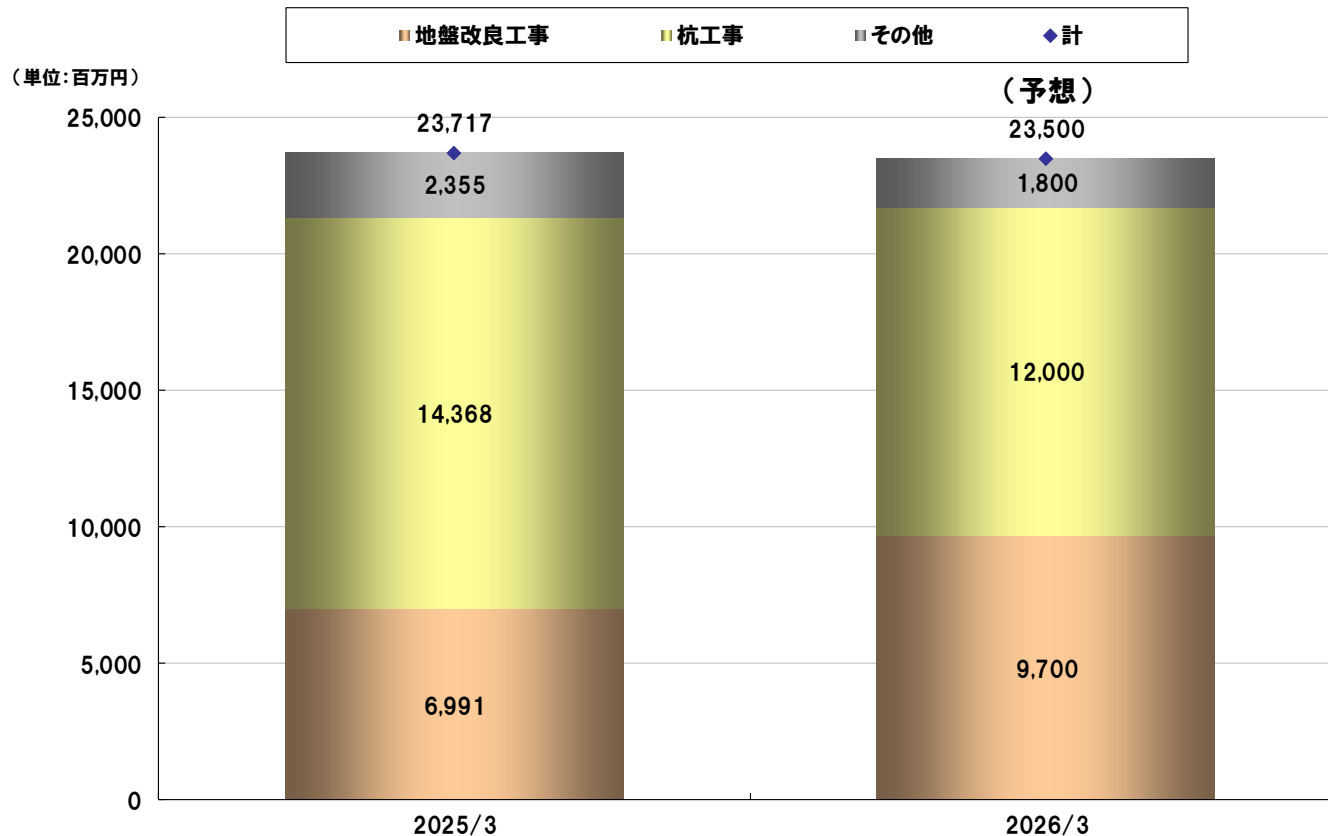
2026年3月期の業績予想(連結)



- 売上高: 土木は北海道新幹線延伸事業が減少。一方、建築は工場などを中心に地盤改良が増加。また、新規事業であるCP-X工法の売上を見込む。
- 利益 : トランプ関税の影響が懸念される。

■売上高	《予想》 235億円	前期比	△2億17百万円 (△0.9%)
■営業利益	《予想》 9億円	前期比	△2億15百万円 (△19.3%)
■経常利益	《予想》 9.5億円	前期比	△2億14百万円 (△18.4%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 6.5億円	前期比	△99百万円 (△13.3%)

2026年3月期の連結売上高予想



- **杭工事:**
北海道新幹線延伸事業が減少
- **地盤改良工事:**
主に、工場などの建設工事と液状化対策が増加

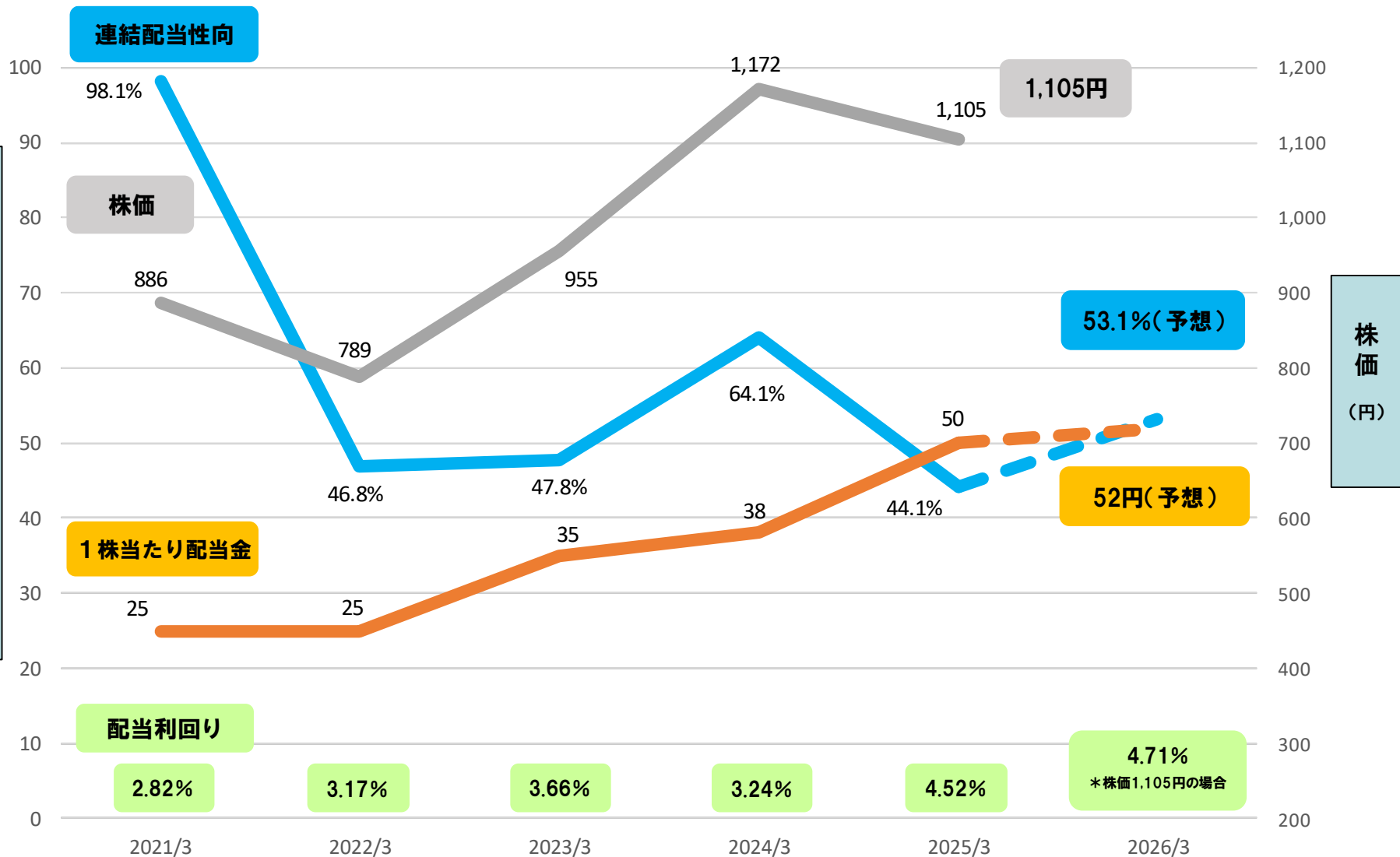
2026年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 8億94百万円	前期比 +2億28百万円 (+34.2%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	前期比 +20百万円 (+4.4%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 45百万円	前期比 △7百万円 (△15.1%) ✓ 主に研究所や大学との共同研究、新技術の開発
■従業員数	《予想》 217名	前期比 +2名

(ご参考) 株価、配当金及び連結配当性向 (2021年3月期～)



(ご参考) 連結業績推移 (2021年3月期～)



(単位:百万円)

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

(単位:百万円)

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

売上高

2021/3

2022/3

2023/3

2024/3

2025/3

2026/3

経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

235億円
(予想)

9.5億円
(予想)

6.5億円
(予想)

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(ご参考) 連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3 (予想)
売 上 高	18,226	20,441	20,774	18,583	15,906	14,817	18,317	20,207	23,717	23,500
売上原価	15,432	17,877	18,121	15,570	13,816	12,461	15,553	17,373	20,093	
売上総利益	2,794	2,564	2,653	3,012	2,090	2,355	2,764	2,833	3,623	
販売費及び 一般管理費	1,732	1,815	1,700	1,873	1,781	1,888	2,111	2,312	2,507	
営業利益	1,062	749	953	1,139	308	466	653	520	1,115	900
経常利益	1,224	785	1,010	1,179	331	516	694	557	1,164	950
(売上高 経常利益率: %)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(6.3)	(2.1)	(3.5)	(3.8)	(2.8)	(4.9)	(4.0)
税金等調整前 当期純利益	1,214	748	1,015	1,208	311	527	732	604	1,134	
親会社株主に帰属する 当期純利益	886	523	640	768	173	357	482	388	749	650
(売上高 当期純利益率: %)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(4.1)	(1.1)	(2.4)	(2.6)	(1.9)	(3.2)	(2.8)
	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末	2021/3 期末	2022/3 期末	2023/3 期末	2024/3 期末	2025/3 期末	2026/3 期末(予想)
純 資 産	11,021	11,393	11,636	12,195	12,215	12,300	12,467	12,689	13,291	13,600
総 資 産	16,780	17,992	16,766	18,667	18,163	17,681	18,770	19,066	21,073	21,300

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画部 経営企画グループ

https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/

電話: 03-3455-7787